



Profile

わたなべ秀一ってどんな人？

守谷市議会議員4期(2012年2月～2024年9月)

昭和47年1月8日(52歳) 守谷生まれ守谷育ち

家族構成：妻・子・母

学歴

黒内小学校・守谷中学校・守谷高校・千葉商科大学

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科修了

好きな食べ物・趣味

妻の手打ちそばが大好きです。

また、アジア料理、スパイス料理も好きです。

趣味は食べ歩き、DIY、アメリカンBBQ、筋トレ

地域活動

守谷ライオンズクラブ元会長、ひとり親世帯対象にもぐもぐ応援フードパントリーの配布や、守谷市近隣中学校バレーボール大会や、小中学生を対象とした守谷イングリッシュフォーラムを開催するなどの奉仕活動を行っています。

守谷市第二消防団元分団長、火災時の消火活動や地域の防災訓練のお手伝い、お祭りの警備など地域を守る活動をしています。



がぶりメンチの生みの親

守谷市商工会商業部会の部長 守谷市のイベントでお馴染みのがぶりメンチ。2011年当時流行していたB級グルメでまちおこしを目的に“守谷将門がぶりメンチ”をプロデュースしました。

コロナ後の現在は、いつでも購入できる店舗での展開を目指しています。

わたなべ 秀一 後援会

住所：〒302-0109 守谷市本町 260
電話：090-6532-4178 メール：nabesta1211@yahoo.co.jp

日々の活動は
QRコードから
ご覧ください

討議資料 →



守谷の未来を とともに創る

政策集

Ver.1



地図データ © Google

わたなべ 秀一

ひでかす



わたなべ秀一が考える

もりやビジョン2030

「これからも、ずっと守谷に住み続けたい」と 思えるまちづくり

守谷市はつくばエクスプレスの開通以降、大きな成長を遂げてきました。しかし、現在の政策をもとに策定した市独自の第3次総合計画における人口推計※によると、守谷市も2030年をピークに全国的な少子高齢化の影響を受け、人口が減少する予測になっています。人口が減少し高齢化が進行すると生産人口が減少し、安定財源の確保が難しくなるとされています。その結果、市民サービスの低下を招き、住み続けたいまちを維持することが困難になります。

守谷には、立地の良さ、豊かな人財、恵まれた自然と、高いポテンシャルがあります。

私は、そのポテンシャルを最大限に活かし、公共交通の整備を軸とした7つの基本方針に沿って、守谷市が少子高齢化の中でも生産人口を減少することなく、今後とも緩やかに人口が微増し発展し続ける政策を推進します。

具体的には2030年までに、守谷市全域をバスの公共交通により整備します。それにより7万人から8万人の人口と自然とのバランスの調和が取れた環境を維持します。

そして、全ての守谷市民の皆様が安心して暮らし、多様なライフスタイルのもとでいきいきと活動し、生活のさまざまな場面で住みよさを実感できるまちを目指します。

私、わたなべ秀一は、「これからも、ずっと守谷に住み続けたい」と思える守谷の価値を次世代につなぐことを約束します。

私は、現在52歳です。5年後、10年後の結果に責任をもてる世代です。守谷の未来を、市民の皆様と、ともに創ります。

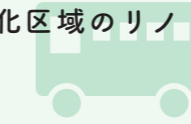
渡辺 秀一

※2015年の国勢結果を基礎数値とした社人研の将来人口推計に2020年の実績を加味した守谷市独自の人口推計



1 公共交通の整備

守谷駅を中心とする公共交通網の整備し、守谷市全体の資産価値を向上します。それにより、免許返納等で移動手段がなく困っているシニア世代や、習い事にいくお子様が安心して市内を移動できるバスの公共交通を整備します。現在、高齢化が進んでいる市街化区域のリノベーションを推進します。



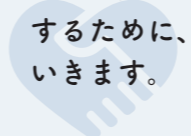
2 子育て政策

「守谷で子育てしたい」と思えるような子育て・教育環境を整備し、生産人口を増加させます。また、守谷市で育った子どもたちが希望する仕事で活躍し、「生き抜く力」を持てるように、次世代に必要なスキルと国際的な視野を広げる学びの場を提供します。



3 人生100年時代の福祉

平均寿命が延びる中で、病気や介護が必要になる前に予防に取り組むことを推進します。さらに、シニア層が持つ能力や経験を活かせるように、生きがいを感じられる仕事の機会を提供します。そして、さまざまなハンデを持つ方々が充実して暮らせる社会を実現するために、多様な施策を講じていきます。



4 しごとの創生、雇用創出

「地域で稼げること」は地域の生き残り戦略において重要な要素です。地域の稼ぐ力を向上させ、稼いだ利益を地域に還元する仕組み（地域公社の設立※）や、企業誘致による税収確保、雇用の創出を推進します。

※茨城県「さかいまちづくり公社」モデルの導入



5 持続可能なまちづくり 仕組み、人財育成

将来性のある起業・人への投資をします。ふるさと納税を財源とし、まちづくりに関する人材育成を目的とした「みらいファンド（仮称）」を設立。育成・発掘した人財を地域・行政へ活用できる仕組みを作ります。また、民間で活躍している専門的な知識やスキルを持った人々の協力を得て地域課題を解決できるような仕組みを作ります。

6 DX※の導入で 豊かな暮らしを実現

行政手続のオンライン化等を推進するとともに、デジタルサポートセンター等を設置し、DXの進展に伴って誰も取り残されることなく、すべての人がデジタル社会の恩恵を享受できるような環境を構築します。

※DXとはデジタルトランスフォーメーションの略

7 行政改革(開かれた行政・ 市民目線の発信・データに基づく 政策・民間活用)

市政情報をウェブサイトやSNSで分かりやすく発信し、重要案件は市民との対話を増やします。また、データに基づいた政策を立案し、市民や民間の視点からアイデアを集める仕組みを作ります。

守谷の未来を ともに創る

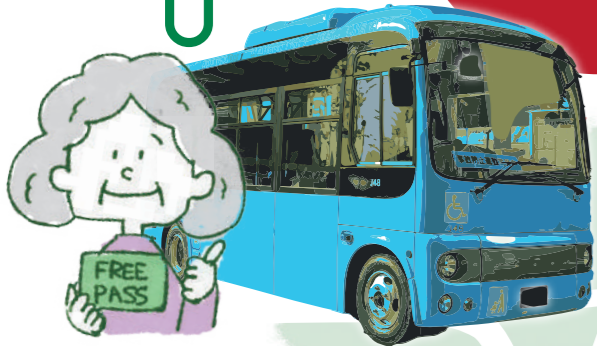


好きなときに好きな場所に
15分に1本の
守谷駅を中心とした
循環バスの整備

守谷駅東口および周辺の再開発



バスの便数が多いから
通院や買い物に
すぐ行ける!



モコバスの増便

75歳以上
免許返納者
バスフリーパス

新滝下橋の
早期建設



総合守谷
第一病院

久保ヶ丘



守谷

複合施設の
建設整備

行政窓口
郵便窓口
図書館

守谷
慶友病院

市役所

小中一貫校
新設



高齢化が進む
街の若返りを推進



引っ越し
準備金の補助



三世帯住宅
建設補助



家の解体費用
補助

守谷野鳥の森
鳥のみちの再整備



みずき野



子育てしやすい
住宅エリアに
なったね!



滝下橋
渋滞の緩和

渋滞緩和で
通勤のストレスが
なくなりました



鬼怒川

ごみ焼却施設の検討

野木崎

スマートIC
周辺エリアの
開発

常総運動公園

総合公園
新設

常磐自動車道

中高生
通学定期券の
補助



つくばエクスプレス
8両化の促進

行きたい学校の
選択肢が
広がりました!

全天候型プレイ施設



つくばエクスプレス



企業連携で
買い物バスの運行

高野

循環バス

美園

利根川

都市軸道路
利根川架線の建設



デマンド
乗合タクシー
整備

住みよいまちづくり（公共交通バスと環境整備）

地域をつなぐ新しい公共交通

好きな時に、好きな場所へ移動できる
公共交通バスの整備を実現します。

守谷駅を中心に、免許返納等で移動手段がなく困っているシニア世代、習い事などにいくお子様が安心して市内を移動できるバスの公共交通網を整備します。さらに対象の方※に市内路線バスのフリーバスを発行します。（※対象者：運転免許返納者、75歳以上、小学生以下）

守谷駅は、車いすの方やベビーカーを利用する方でも利用しやすく、安全面を配慮したユニバーサルデザインを採用します。リアルタイムのバス運行情報や時刻表を掲示、またスマートフォンでも確認できるようにし、利用者が待ち時間を把握できるようにすることで、利用者満足度を向上させます。

● 守谷駅周辺エリア

守谷駅から病院や買い物、市役所、子育て支援センター、常総運動公園など、好きな時に好きな場所に行ける公共交通を整備します。

● 市街化区域エリア（みずき野・本町）（美園・けやき台）（北守谷）

守谷駅を中心とする循環バスの導入、また試験的に自動運行バスを導入し運転手の人材不足にも対応していきます。

● 市街化調整区域エリア（乙子・高野・大野・立沢・板戸井など）

モコバスの増車によるルートの見直し
デマンド乗合タクシーの台数増車等による慢性的な予約困難も解消していきます。

● 企業バスの運行支援（お買い物バスや病院バスなどの運行）

守谷駅からのシャトルバスの運行することで、市内の生活必需品を取り扱っているショッピングセンター・スーパーマーケット・ホームセンターなどの企業と連携し、守谷駅からのシャトルバスの運行を推進します。同じく、病院などの医療施設にも同様に働きかけます。

市民の声 守谷駅周辺にお住まいの方に聞く公共バスに期待すること

夫婦でお酒が大好きなので、郊外の飲食店に行く時に公共バスを利用したいね。



日々の買い物に行く際に公共バスを使いたい!!
ガソリン代がういて、家計にやさしいです!



駅周辺の交通渋滞が緩和されると嬉しい。環境にもやさしい守谷になるといいね。



守谷まるごとリノベーション

市街化区域（特に高齢化地域）の高齢化率を抑制し
子育て世代に選ばれるエリアに整備します。

近年、守谷駅周辺の住居用地は人気があり、新しく購入することが難しくなっています。一方で、守谷駅から少し離れた場所には、学校や公民館など住環境が整った地域があります。この整備された住宅環境を、引き続き子育て世代に選ばれるような環境に整備し、これから住居用地を購入したい方に住んでもらえるようにしたいと考えています。先行的に、みずき野と北守谷エリアを対象エリアとし、引き続き子育て世代に選ばれる環境を整備します。この二つのエリアは市内でも大きな市街化区域であり、これらのエリアリノベーションの成功が今後の守谷市の高齢化対策にもつながります。

● 守谷駅を中心にした循環バスを導入

● 子育て世帯の引っ越し準備金助成

● 建物の所有者に対する解体費用助成

● 親と近住する場合や二世帯住宅を建設する場合の住宅補助



守谷で育った子どもたちが子育てしたくなるまちづくり

守谷で生まれ育った方も、縁もゆかりもない守谷に引っ越してきた方も、我が子の故郷は守谷です。住宅支援、就労支援、子育て支援といったトータルサポートすることで、ここで育った子どもたちが将来、自らの子育ての地として守谷を選びたいような、魅力的なまちづくりを推進します。



守谷駅および守谷駅周辺的环境整備

「人が集まる」という駅の拠点性をまちの価値向上につなげる

つくばエクスプレス開通から19年間経過していますが、守谷駅の景色は大きくかわっていません。私、わたなべ秀一は、守谷駅および守谷駅周辺的环境整備にチャレンジすることで、人口減少社会においても、若い世代に「住みたい、子育てしたい」と選ばれ続ける魅力ある街にし、生産人口を維持します。また、シニア世代が生きがいを持ち、元気に自立した生活を送れる社会をつくりまします。全ての守谷市民が安心して暮らせるまちにします。

民間企業と共同に守谷駅再開発プロジェクト

守谷駅西口に「守谷駅再開発プロジェクト」を推進します。実現に向けては、豊島区役所の建設等を参考に、守谷市の費用負担を極力抑える手法を用いて、守谷駅前に複合施設を整備します。行政施設と商業施設を融合する大きな理由の一つとしては、行政施設を駅に設置することで、駅周辺の地域が活性化します。人の流れが増えることで、商業施設も賑わい、地域全体の経済が活性化します。

開発にあたり、現在の守谷駅西口広場で開催している朝市の賑わいの機能（スペース）が継続できるように配慮し、市民の皆さまとともに検討を進めます。

行政窓口（出張所）の設置・郵便窓口の誘致

ワンストップ的にサービスを受けられる、市民にとってやさしい窓口を設置します。特に行政手続きが多い子育て、高齢者の方の相談窓口を集約することで、市民の時間と労力を節約します。



行政窓口イメージ



カフェ併設の駅前図書館イメージ

図書室（デジタルライブラリー）の設置

市民の知的活動を支援し、文化的な交流を促進するため図書室を検討します。カフェを併設し読書や勉強をしながらリラックスできるフリースペースも設置します。また、駅に直結しているため、通勤や通学の途中で気軽に立ち寄ることができます。

市民ホールやコンベンションホール等の設置

市民ホールでは、地域の活性化を促進し、文化的な発展を支える拠点となることが期待されます。コンサートや演劇、会議やセミナー、レセプションパーティーなど多様な用途で利用され、地域の多様なニーズに応えることができます。



多目的ホールイメージ

守谷駅周辺的环境整備

子育て世代の応援機能の充実



駅前保育送迎ステーションの設置、小規模保育園（2歳以下）の設置

子育て世代の負担軽減と利便性向上のため、駅周辺に保育送迎ステーションを設置し、通勤時の保育送迎をサポートします。また、送迎バスの対象外となる2歳以下の子どものために小規模保育園を設置します。

一時託児施設の設置（ファミリーサポートの預かり場所）

現在、キ・ターレにある一時託児施設を、守谷駅前にも設置します。急な用事や仕事の際に安心して子どもを預けられる環境を提供します。

公設学童の設置

通学区域に関わらず通勤で守谷駅を利用している方のための公設学童を設置します。それにより、駅でお子様をピックアップすることができます。

守谷駅東口に児童センターと多世代コミュニティ機能を併用した施設の設置

守谷駅東口には公共施設がないため、市民の交流の場が不足しています。

ミ・ナーデ、キ・ターレのような児童センターと乳幼児からシニアまで幅広い年齢層が集える多世代交流の場を整備します。

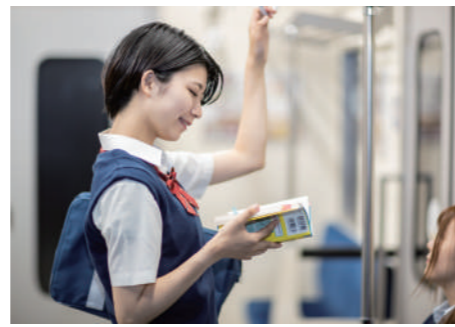
この施設には、子どもや学生たちのためのスタディールームなどの子供の居場所づくりをはじめ、地域食堂、また、働くママを応援するために、テレワークを支援するスペースも完備し、多様なニーズに対応できる仕様にします。



すべての家庭が 安心して子育てできる

みんなにやさしい子育て環境

- 待機児童ゼロを実現
- 小学校入学祝い品としてランドセルの贈呈
- 給食の無償化を推進（先行的に第3子以降の無償化を実施）
- 地域食材で美味しくバランスのよい給食の提供
- 小学生以下に市内路線バスのフリーパスポートを発行
- 中・高校生 通学定期券購入を支援
通学定期券購入支援 公共交通機関（鉄道、路線バス、コミュニティバス、スクールバス）で継続的に通学している方を対象に一部補助します。
- すべての希望者が利用できるようファミリーサポートの環境改善
サポーター会員の待遇改善、簡単に予約できる仕組みの提供
- 子どもが過ごせる全天候型プレイ施設の整備



働きながら 子育てできる環境づくり

育児もキャリアも諦めない生き方

自身のキャリアのため、また暮らしを豊かにするために、育児休暇を使い正社員として働き続ける方、また子育てがひと段落した後に復職される方も少なくありません。また、将来的な備えとして貯蓄を確保するためにも、働きながら子育てできる環境を整備する必要があります。

- 守谷駅に保育送迎ステーションの設置
- 保育士不足を解消するための保育士補助制度の整備
- 夏休み等の期間中、学童へ給食センターからの配食を実施
- 働きながら子育てできる新しい働き方として在宅勤務を官民共同で推進
- 通学区域に関わらず通勤で守谷駅を利用している方のための公設学童を設置
- 急な用事や仕事の際に安心して子どもを預けられる一時託児施設の設置



子育て世代から守谷市に求められる声

子育てには色々お金がかかるから、様々なサポートがあると嬉しいな。



通学定期券を負担してくれると、好きな高校に通わせてあげられます。



天気を気にせず、遊べる場所があるのは嬉しいね。



子育て世代の声 守谷駅に子育てに優しい施設を！

子育て世代にとって必要なサービスを駅前につくって！



電車通勤なので、子供を預けられる保育所を完備して！



フリーランスなので、子どもを預けながらリモートワークできる施設があると嬉しいな。



「質の高い」教育 × 「選べる」学び

人口減少社会においても、若い世代に「住みたい、子育てしたい」と選ばれ続けるだけの魅力あるまちづくりへチャレンジすることで生産人口を維持します。また、守谷市で育った子どもたちが将来社会に出たときに、自分の希望する仕事で活躍し、しっかりと「生き抜く力」を持てるように、次世代に必要とされるスキルを身につける機会を提供します。さらに、国際的な視野を広げる学びの場も積極的につくっていきます。

「質の高い」教育

子ども達の可能性を最大限に広げる多様性のある、世界に通用する人材育成教育の現場に新しい風を吹き込み、多様な視点、専門知識の活用促進

- すべての子どもが英語を話せる「グローバル・スタディ」の導入（さいたま市で日本一の英語教育）
- 最新のSTEAM教育などの導入
- 「キャリア教育」に加えて「アントレプレナーシップ教育」の推進
- 民間人材の教育長、校長の採用／教育委員会の民間人枠の増員

STEAM教育 8つのメリット

STEAM教育とは、科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・リベラルアーツ (Arts)、数学 (Mathematics) の5つの分野を統合的に学ぶ教育法

自己効力感が向上する

グローバル化に対応できる

論理的思考が身に付く

問題解決能力が身に付く

クリエイティブな思考が身に付く

独創的なアイデアを生み出す力が身に付く

勉強への苦手意識を克服して楽しく学ぶことができる

現代社会に適応した教育が受けられる

「選べる」学び

一人ひとりに寄り添い、子どもたちの主体性と感性を育む教育を推進

- 将来的に通学区域制を撤廃し、専門的、特色ある学校づくりの検討
- 学習環境の多様化への対応として学校内フリースペースを設置、フリースクール通学補助を導入



地域とともに創る、小中一貫校の新設

現在、守谷市内（松並青葉周辺）では、過大規模校の問題を抱えています。小中一貫校の新設により、子どもとたちと先生方が、ゆとりある学校生活を送ることができる環境を整備します。学校は将来的に多様な用途（福祉施設など）に対応できる設計にします。

9年間の一貫した教育プログラム

9年間を通して学校独自の特色ある教育プログラムを展開しやすくなります。また地域住民の協力のもと、体験学習等の機会を増やし、学校、家庭、地域が一体となり子どもを見守り育てていく教育環境を作ります。

複合施設の併設

学校施設を学校教育だけの場とするのではなく“地域みんなの施設”としてフルに活用します。

- 地域住民の活動拠点
- 生涯学習の拠点
- 子育て支援機能との連携拠点など



地域防災拠点として活用

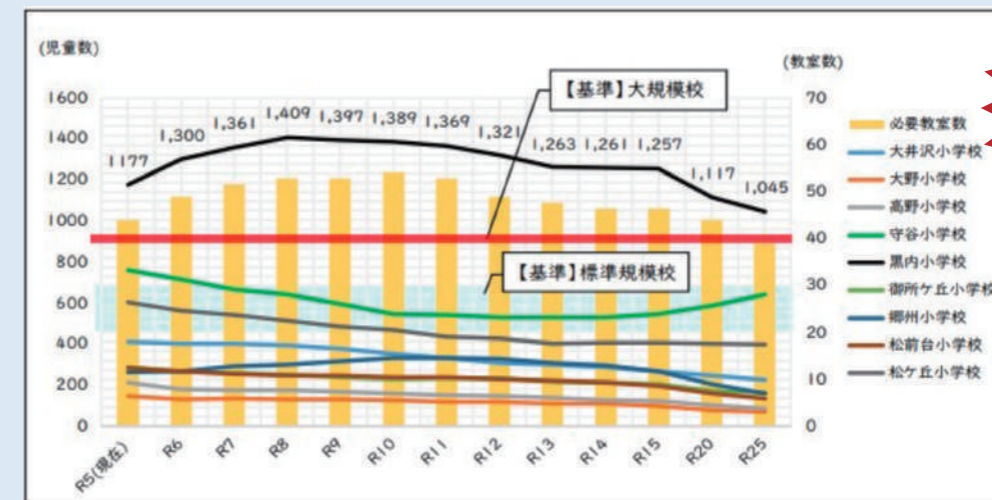
守谷駅周辺地域にお住いの市民の「災害時に安心して避難できる避難所」としての機能も兼ね備えます。



守谷市の問題 過大規模校について

今後20年間にわたり黒内小学校は過大規模校である状況です※1。また今後、黒内小学校の通学区域である守谷中学校の生徒数も増加します。そうした状況を踏まえますと、過大規模校の問題解消や子ども達の通学路の安全確保（踏切や国道を渡らせない）※2 だけではなく、守谷の子ども達すべてにゆとりある環境で教育を受けられるように、松並青葉・ひがし野、エリア周辺に早急に新設校を設置します。

※1 黒内小学校の児童数と学級数の実績と見通し



今後 過大規模校として 20年続く見通し!!



(引用元) 令和5年12月 守谷市教育委員会学校教育課発行 黒内小学校通学区域の変更(案)について

文部科学省では、一校あたり31学級以上を『過大規模校』と位置付けています。

※2 令和6年度、北園交差点で国道294号線を横断する児童数は約900名。児童数はこの8年間で約3倍に増加。

健康・福祉・医療・高齢者支援

人生100年時代の福祉

平均寿命が延びる中で、病気や介護が必要になる前に対策を講じることが重要です。

これからは、病気になった後や介護が必要になった後の対応だけでなく、病気や介護が必要になる前に予防に取り組むことを推進します。

さらに、シニア層が持つ能力や経験を活かせるように、生きがいを感じられる活躍の場や仕事の機会をつくります。そして、さまざまなハンデを持つ方々が充実して暮らせる社会を実現するために、多様な施策を講じていきます。

福祉・医療

● 公共施設等への健康ステーション機能の設置

健康管理・計測に役立つ機器を設置します。さらに、地域住民の健康情報を蓄積し、生活スタイルや、食生活に関してアドバイスします。健康ステーションは、研究機関・民間と連携し、最先端の取組みを行うと共に、蓄積されたデータからAIを活用し、健康リスクを予測します。

● 健康ポイントの発行と地域通貨との連携

歩数、トレーニング、健康弁当、食事記録などを健康ポイントとして換算し、地域通貨に変換し、地域店舗で活用できる仕組みづくり。

● 医療・介護・看護連携による地域包括ケアシステムの強化

住み慣れた地域で人生の最後まで過ごせるよう、在宅医療の誘致とこれら医療機関と介護事業所の連携推進による地域包括ケアシステムの強化を行います。



いつまでも健康でいきがいのある生活

● 誰もが楽しく過ごせる居場所づくり(多世代型拠点)

シニア世代の活躍の場、多世代での交流が可能な居場所づくり
シニア世代の方々が培ったノウハウを活かした活躍の場や、子どもから大人まで一緒に過ごせる多世代交流拠点を整備します。



● 高齢者が気軽に集える居場所づくり

ショッピングセンター等の空きテナントを借り、これまで守谷を支えてきたシニア世代の皆様が生き生きとした生活を送れる居場所づくりをします。



● 温浴施設の誘致

守谷総合公園周辺に温浴施設を誘致し、シニア世代の方々には入場料の一部を負担します。

安心な暮らしのためのセーフティネット

● 通院や買い物などへの交通インフラ整備

シニア世代や免許返納後の方を意識したバスの整備、病院・ショッピング店舗と連携した企業バスの整備。

● シニア世代向け市内路線バスのフリーパスポート発行

75歳以上の方、免許返納された方対象に市内路線バスで使用できるフリーパスポートを発行。

● 一人暮らしのシニア世代の見守りサービスの充実化

配食サービスを活用した見守りサービスの実施。
配食サービスについては、既存の給食センターの利活用を予定。

● 障がいのある方の就労支援強化

障がい者ワークステーションを設置し、障がい者雇用を促進します。

シニア
世代の声

いつまでもワクワク元気に暮らしたい！

病院や買い物をいつでも気軽にできるバスを整備して！



いつまでも元気に仕事をしたい！地域に貢献したい！



守谷市内にリラックスできる温浴施設があるといいな



暮らし

すべての人が安心して暮らせる地域づくりをします。

- ごみの分別をこれ以上増やさないために、時代に適した常総広域のゴミ焼却機の機種変更を推進
- つくばエクスプレスの8両編成化を早期実現
- 都市軸道路の利根川架橋、守谷 SA スマート IC、新滝下橋建設の早期実現
- 守谷 SA スマート IC 周辺土地区画整理事業の推進
- 新守谷駅周辺土地区画整理事業の推進



誰もが楽しめる守谷総合公園の整備

パーク PFI を活用したプロジェクトチームを結成し、誰もが楽しめる「パーク（公園）」を市民の皆様とともに推進します。

- 屋外施設や屋内体育館の整備
- プール施設やインクルーシブ施設の整備
- 利根川を活用した親水パークの整備
- 民間温浴施設の誘致
- 東京ヤクルトスワローズファームと連携し、地域交流イベントを開催



屋内プール

屋内体育施設

スケボーパーク

防災・防犯

さまざまな危機に備え安全安心で強靱なまちの創造

日本各地で大きな災害が発生、守谷は地形的に災害に強いまちとされていますが、いつ災害にあうかわかりません。

- 小学生の防災教育の促進（学校教育として導入）
- 防災井戸の増設、公園等にある防災井戸を計画的に増設
- 避難の多様化に対応するため、自動車避難場所、ペット避難所を検討
- 取手警察所と連携し防犯に強いまちづくりの推進
- 暴走バイクの騒音対策による静かな住環境の提供
- 市内の防犯カメラを活用した防犯対策強化



地域の課題解決

地域コーディネーターの配置

まちづくり協議会の機能強化を図るため、地域の課題の整理と解決に向けた支援をおこなう地域コーディネーターを配置します。

地域コーディネーターは、民間からの専門職を採用し、地域が持続的に活動・成長していくための仕組みづくり（法人化を含む）を支援します。

これら財源には、「みらいファンド（仮称）」を活用します。

持続的に支援

地域コーディネーター

地域のお困りごと・お悩み



子育ての不安を解消

起業をサポート

移住を支援

ひとり暮らしの不安解消

人が集まるコミュニティ

産業・農業

稼ぐ産業

- 官民出資のまちづくり公社(境町モデル)を設立
- **入札改革を実施** (時代に適した入札制度の導入し、市内の新規企業の参画推進)
- 守谷商工会と連携し、**法人や個人事業主のスタートアップ支援**
 - ▶ 小規模企業の補助金事業の採択率向上のコンサルティング
 - ▶ **スタートアップ・創業支援**
- グローバル企業の誘致
- 守谷駅前に**リモートワーク向けのスペースを整備**



稼ぐ力を持つ地域商社

ふるさと納税の運營業務から、新しい産業を創出するなど、ふるさと納税の返礼品目を増加します。また、ふるさと納税制度が続く限り安定した財源確保を目指します。



企業誘致で雇用創出

東京まで1時間圏内の守谷市を市外企業はもちろんグローバルにPR。さらに地元企業との共存共栄を図りながら持続可能な地域発展を推進します。

稼ぐ農業

- **次世代農業への転換**
研究機関・大学と連携したスマート農業・有機農業の普及
- **強い農業と農村環境**
農業生産法人設立の支援とそれともなう農村環境・景観の維持
耕作放棄地にさせないための農業就労者の紹介
農業の6次産業化の促進による所得向上
地域の農業資源を活用した農園リゾートの整備



行政改革

自治体DXで市民に寄り添った行政サービス

行政手続のオンライン化等を推進するとともに、デジタルサポートセンター等を設置し、DXの進展に伴って誰も取り残されることなく、すべての人がデジタル社会の恩恵を享受できるような環境を構築します。

※DXとはデジタルトランスフォーメーションの略

- 「窓口に行かなくてもよい市役所」行政サービスのデジタル化を推進
- 誰もが参加しやすいオープンな市民参加型のワークショップ
- SNSを活用し、市民目線で分かりやすい情報発信を徹底



専門性をもつ職員の採用や職員研修の充実

少子高齢化や人口減少に対応するには、未来を見越した政策を立案する必要があります。データに基づいて政策(EBPM[※])を作成し、市民や民間の視点から検証し、より良いアイデアを集める仕組みを作ります。また、得られた知見を活用して、コストを抑えつつ成果を上げる施策を進めるため、既存の事業の見直しや改善に取り組みます。市役所の外部や民間の専門知識が必要な分野には、積極的に民間の専門家を採用します。

※EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング)とは、政策目的を明確化したうえで合理的根拠に基づき政策立案すること

- **専門性を持つ職員の中途採用(PR・DXなど)**
- 職員研修の充実(大学院・民間スクールでの研修、国、県、民間との外部出向)
- **生成AI等を用いた行政職員の業務効率化**
- データに基づいた政策の立案

持続可能な環境

● ゼロカーボンへの取り組み

2050年の二酸化炭素実質ゼロを目指すための環境基本計画の改定と実行。公共施設での再生エネルギー発電・環境性能の向上、再生エネルギーのPPA契約の推進、移動手段の脱炭素化を進め、市民のグリーンインフラに関する取り組み推進します。

